

平成30年度 2年「現代文」シラバス 《国語》

1、科目・単位・履修学年・区分
現代文・2単位・2年・必修

2、使用教科書・副教材

①精選 現代文（三省堂）

②大学入試現代文単語550（いっずな書店）

③クリアカラー国語便覧（数研出版） ④準拠「学習課題ノート」（三省堂）

3、教科目標

国語を的確に理解し適切に表現する力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

4、授業方法・形態

一斉授業、講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。

5、評価方法・形態

定期考査（中間考査・期末考査・2学期実力考査）、臨時テスト、授業態度（音読・発表・発問回答）、課題提出物等を総合的に判断して行う。

6、評価の観点・評価規準

- a 関心・意欲・態度 国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
- b 話す・聞く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
- c 書く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。
- d 読む能力 自分の考えを深めたり発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとったり読書に親しんだりする。
- e 知識・理解 表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・漢字等を理解し、身につけている。

7、授業計画

	単元	教材	学習目標	時数
4月		ガイダンス	・授業の進め方や評価の観点等を確認する。	1
	随想	最初のペンギン （茂木健一郎） わかりやすいはわかりにくい？（鷺田清一）	・独自の着想による個性的な評論を読んで、筆者の考えを的確に理解する力を養う。 ・論理的に考えることのおもしろさ、意義をとらえ、人生や芸術への認識を深める。	6
5月	表現	意見文 現代評論を読むために ①環境	・テーマを設定し、情報を集め、整理して文章にまとめる手順を考える。 ・客観的事実と自分の意見を明確に区別し、意見を述べる。	2
6月	小説（一）	山月記（中島敦） ランドセル（角田光代）	・小説に描かれた場面、作中人物の言動、心理を、表現に即して読み取る。 ・小説の虚構を通じて、人生の真実や人間の生き方について考える態度を養う。	9
7月	評論（一）	ミロのヴィーナス（清岡卓行） 未来世代への責任（岩井克人） 恐怖とは何か（岸田秀）	・芸術論、環境論、自我論分野を扱った評論を的確に読解することを通して、それぞれの知識水準や現代評論に特徴的な象徴語や表現技法を把握する。 ・本文の構成や展開、例示など論証の工夫を理解し、筆者の論旨を理解する。	8
	詩歌	二十億光年の孤独	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、	4

		(谷川俊太郎) パンの話(吉原幸子) 永訣の朝(宮沢賢治) 木に花咲き—短歌十五首	鑑賞力を高める。 ・昭和以降の詩の多様な表現を深く味わい、韻文に親しんで自己の感性を豊かにする。 ・現代短歌を鑑賞し、一首ごとの作品世界と感動の中心を理解する。	
8月		読書感想文 創作	・2学期実力テストに向け、自主学習する。 ・読書に親しみ、感想文を書く。 ・詩、短歌、俳句、小説などを書いてみる。	
9月	評論(二)	メディアと歴史 (若林幹夫) 木の葉と光(日高敏隆) コンクリートの時代 (隈研吾) 現代評論を読むために ②メディア・情報	・身近な問題を扱った評論を読んで、展開を的確に理解し、内容を読み取る。 ・筆者が提起する事柄を自らの問題として考える態度を養う。 ・統計資料の読み方を学び、それを踏まえた自分の考えをわかりやすく整理する。	10
10月				
11月	小説(二)	蠅(横光利一) レキシントンの幽霊(村上春樹)	・人物の心情の推移を的確に読み取り、優れた表現や描写を味わう。 ・小説を読む意義をとらえ、物語世界の奥深さを理解する。	9
12月	評論(三)	戦争の〈不可能性〉 (西谷修) 「である」ことと「すること」 (丸山真男)	・近代社会を論じた評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。 ・近代の構造と本質についての認識を深めるとともに、進んで評論を読む態度を養う。	8
1月	小説(三)	こころ(夏目漱石)	・場面の展開に即して作中人物の性格や心理を読み取り、人間の内面の奥深さを味わう。 ・積極的に読書を通して人生への関心を深め、自己の形成に資する態度を養う。	8
2月	評論(三)	現代評論を読むために③ 近代	・人間と社会の質的な変遷を主題とした評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。 ・自由や民主主義的思考についての認識を深めるとともに、現実を批判的に分析する視点を把握する。	2
3月	批評のま なざし	木を伐る人／植える人 (赤坂憲雄) 「選べる社会」の難しさ (松田美佐) 空白の意味(原研哉)	・論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書く。	3
年間授業時数				70